

メディチーナ 第7巻・第1-13号 総目次 (カッコ内の数字は号数を示す) 6号は臨時増刊特集号

Leading Article

学会改革へのビジョン

一学会の徹底的な改革を望む

高月 清 (1) 7

一ウイーンでの学会に学ぶ

高橋 忠雄 (1) 8

新薬を患者に試みるとき臨床家の心がまえ

一臨床家を包囲する新薬状況の明確なる認識とその自衛

砂原 茂一 (1) 10

一新薬臨床検定の前に立ちほだかるもの

佐々木智也 (1) 12

病理と臨床—臨床経験つみかさねへの土台石

一患者のための臨床医

金子 仁 (1) 14

一病理医に期待するもの

阿部 正和 (1) 16

検査項目選択の論理と現状

一深い思考実験から検査情報の処理へ

阿部 裕 (1) 18

一臨床検査成績のムダのない利用を

小酒井 望 (1) 20

病院における内科診療のありかた

一内科医は生命全体を把握する

梅原 千治 (1) 22

一病院における内科は船団の中の母船

日野原重明 (1) 23

医療事故と法医学—どう防ぐべきか

野田金次郎 (2) 198

外来予約制度のすすめ

左奈田幸夫 (3) 319

腎移植の現状と将来

岩崎 洋治 (4) 442

病理学と臨床—日本とアメリカの実情から

大保 亮一 (5) 566

食品添加物の問題点

谷村 顕雄 (7) 1086

抗生物質合剤の反省

長谷川弥人 (8) 1211

地域医療の問題点—包括医療への再認識を

吉沢 国雄 (9) 1334

水俣病 その後 徳臣晴比古

(10) 1458

久山町研究の展開

勝木司馬之助 (11) 1582

原爆被爆者の予後管理

安日 晋 (12) 1705

日常検査の限界 小酒井 望

(13) 1829

Editorial

脳腫瘍の治療 石井 昌三 (1) 51

喘息の種々相 川上 保雄 (2) 161

脾疾患のシンチグラム—将来の方向をさぐる

寛 弘毅 (3) 283

脳動脈硬化症 吉川 政己 (4) 405

甲状腺疾患—原因論の移り変わり

鳥飼 龍生 (5) 529

アルコールは自動車運転にどう影響するか

上野 佐 (7) 1049

腹痛 澤田藤一郎 (8) 1173

ジギタリス剤使用上の反省

高安 正夫 (9) 1297

癌の薬と臨床の倫理

砂原 茂一 (10) 1421

慢性腎不全の治療—管理についての見とおし

吉利 和 (11) 1545

化学療法は適正に 小酒井 望 (12) 1667

日本の脳血管障害の移り変わり

相沢 豊三 (13) 1791

今月の主題

脳腫瘍の早期診断

喜多村孝一 (1) 52

<座談会>脳腫瘍をめぐる

里吉宮二郎・喜多村孝一

戸塚 清・五島雄一郎 (1) 60

いわゆる喘息—病態を中心に

光井庄太郎 (2) 162

<座談会>喘息の精神身体医学

池見西次郎・吾郷 晋浩

桑原 寛・井上 四郎 (2) 174

脾疾患の新しい診断法

内藤 聖二 (3) 284

<座談会>脾疾患の診断と治療の問題点

上垣 恵二

内藤 聖二・若林 利重

佐々木常雄・石井 兼央 (3) 290

高コレステロール血症と脱コレステロール剤

友野 隆 (4) 406

<座談会>高脂血症—新しい考え方と対策

八杉 忠男・内藤 周幸

中村 治雄・五島雄一郎 (4) 412

甲状腺腫—形態と病因について

山田 隆司 (5) 530

<座談会>甲状腺機能検査—現状と将来

熊原 雄一・尾形 悦郎

田中 茂・阿部 正和 (5) 538

アルコール性肝臓病—成立機序と対策

平山 千里 (7) 1050

<座談会>アルコール性障害

石井 兼央・高橋 宏

本多 慶夫・高橋 忠雄 (7) 1058

上腹部の痛み—診断の過程

大貫 寿衛 (8) 1174

<座談会>腹痛の鑑別診断

三輪 清三

長洲光太郎・安部井 徹

太田 昭夫・芦沢 真六 (8) 1179

ジギタリス—新しい理解と使用上の問題点

日野原重明 (9) 1298

<座談会>ジギタリス—より適切な使用のために

今井 昭一

鷹津 正・広沢弘七郎

森杉 昌彦・日野原重明 (9) 1306

癌の薬物療法の現況—制癌剤を対象に

斎藤 達雄 (10) 1422

<座談会>癌の薬物療法をめぐる

木村禰代二・竹内 一夫

大星 章一・日野 志郎 (10) 1428

慢性腎不全の治療—とくに保存的治療と間歇的血液透析の適応について

中村 定敏 (11) 1546

<座談会>慢性腎不全の保存的治療

大野 丞二・高須 照夫

柴垣 昌功・三村 信英 (11) 1552

内科感染症と化学療法剤の選び方

三木 文雄 (12) 1668

<座談会>抗生剤療法

上田 泰・深谷 一太

名出 頼男・斎藤 篤

富岡 一 (12) 1674

脳血管不全 後藤 文男 (13) 1792

<座談会>脳卒中—発作の予測と発作直後の処置

里吉宮二郎・亀山 正邦

美原 博・木村 武 (13) 1798

今月の表紙

脳腫瘍の超音波断層写真

尾原 義悦 (1) 124

喘息死亡者の肺組織像

光井庄太郎 (2) 244

脾臓X線造影像 高木 国夫 (3) 368

高脂血症の5型 内藤 周幸 (4) 488

甲状腺腫瘍の頸部X線像

伊藤 国彦 (5) 616

脾石症のX線像 石井 兼央 (7) 1134

関節の知覚終末 猪狩 忠 (8) 1258

William Withering (1741-1799) と

ジギタリスの花 今井昭一 (9) 1382

早期胃癌の異型上皮組織像

早川 滉 (10) 1506

腎組織の螢光抗体法

波多野道信・名和 紀之 (11) 1628

マイコプラズマの電顕像

河合 清之 (12) 1752

脳動脈閉塞の血管造影

竹内 一夫 (13) 1874

特別記事

これからの開業医—専門医か、ホームドクターか

木島 昂・鈴木 荘一

渡辺 亮・永井友二郎

森杉 昌彦・川上 武 (1) 113

呼吸器臨床懇話会から—気管支喘息と

ステロイド—使用上の問題点

三上理一郎・中島 重徳

大沢 伸昭・可部順三郎

長岡 滋・長沢 誠司

岡安 大仁・宮本 昭正 (9) 1372

呼吸器臨床懇話会から—呼吸器疾患と

ステロイド療法

長沢 誠司・芳賀 敏彦

田中 元一・石田 尚之

三上理一郎・大沢 伸昭

長岡 滋・可部順三郎

古家 堯・中島 重徳

吉岡 一郎・岡安 大仁

宮本 昭正 (11) 1616

診断のポイント

血糖曲線からの糖尿病の診断

日野 佳弘 (1) 69

見おとされている三尖弁閉鎖不全

仁村 泰治・榊原 博 (1) 73

複視	祖父江逸郎 (2)	183
いわゆる小児喘息	中山善弘 (2)	185
パッチテスト (patch test 貼布試験)	古谷 達孝 (2)	187
回盲部腫瘍	長洲光太郎 (3)	301
見のがされている血液疾患	三輪 史朗 (3)	304
弁膜症の手術適応	武内敦郎 (3)	307
おとなのおたふくかぜー流行性耳下腺炎	名尾 良憲 (4)	422
簡単な呼吸機能検査器具でわかるもの	三上 次郎 (4)	425
血小板減少と臨床検査	藤巻 道男 (4)	428
解離性大動脈瘤	初音嘉一郎 (5)	549
更年期婦人の原因不明のむくみ	加藤 暎一 (5)	554
周期性四肢麻痺	荒木 淑郎 (7)	1067
亜急性甲状腺炎	鈴木 秀郎 (7)	1070
中性脂肪 (トリグリセライド) の高いとき	中村 治雄 (7)	1073
微熱が長くつづくとき	吉植 庄平 (8)	1190
腹部単純撮影からわかるもの	山口 保 (8)	1194
見逃がされている脂肪肝	高橋善弥太 (8)	1198
半身のしびれ	亀山 正邦 (9)	1315
CRP と赤沈促進ーその臨床的意義	磯貝 行秀 (9)	1319
頸部リンパ節腫脹	服部絢一 (9)	1323
咳が長くつづくとき	岩崎 栄 (10)	1438
血清糖蛋白の臨床的意義	堺 隆弘 (10)	1441
見逃がされている遊走腎	和久 正良 (10)	1444
脈波からわかるもの	吉村 正治 (11)	1564
低ビリルビン血症を示す疾患ー頻度および臨床検査成績との相関	富田 仁 (11)	1568
片麻痺の合併症	横山 巖 (12)	1684
マイコプラズマ肺炎	原 耕平 (12)	1687
CPKの臨床的意義	後藤 幾生 (12)	1691
心窩部痛	五十嵐正男 (13)	1808
尿沈渣からわかること	富田 重良 (13)	1812
Arteriosclerotic Parkinsonismー概念への一考察	荒木 淑郎 (13)	1815
治療のポイント		
ネフローゼ症候群と蛋白質のとり方	山下 泰正 (1)	80
急性喉頭炎 Laryngitis acuta	堀口 申作 (1)	82
梅毒	小野田洋一 (1)	84
ジフテリア	水原 春郎 (2)	189
インスリンの投与量調整	平田 幸正 (2)	192
心筋硬塞に対する抗凝血薬療法ー現状と将来	片山 文路 (2)	195
慢性肺炎	石井 兼央 (3)	310
新強力利尿剤の薬理とその使用法ーFurusemide, Ethacrinic acid	日野原重明 (3)	313
胃切除後の貧血と低栄養	奥田 邦雄 (3)	316

脳血管拡張剤ー臨床応用時の注意	秋山 実 (4)	431
結核化学療法をどこで打ち切るか	岩崎 龍郎 (4)	434
留置カテーテルの適応と感染予防の実際	斎藤 豊一 (4)	437
褥創の予防と治療	服部 一郎 (5)	557
侏儒症	原田 義道 (5)	560
胆道感染症に対する抗生物質療法	谷川 久一 (5)	563
心臓病とアルコール	塩田登志也 (7)	1076
蕁麻疹・皮膚炎の心身医学的アプローチ	阿部 正 (7)	1078
痛風治療薬の使い分け	佐々木智也 (7)	1081
癌末期患者の痛みの管理	清原 迪夫 (8)	1201
腹痛の診断と鎮痛剤の使い方	本田 利男 (8)	1204
日光皮膚炎	谷奥 喜平 (8)	1207
冠拡張剤の使い分けーとくにニトログリセリン製剤について	土肥 豊 (9)	1327
過敏性大腸の生活指導	並木 正義 (9)	1331
高血圧症を伴う糖尿病の管理	神田 博 (10)	1447
鉄欠乏性貧血ー鉄剤の使い方	山口 潜 (10)	1451
真菌症の化学療法	福島 孝吉 (10)	1454
ネフローゼ症候群とステロイドの使い方	三條 貞三 (11)	1571
神経性食思不振症ー原因と治療	桐生 恭好・小林 信正 (11)	1576
腎結石ー自然排出か手術的治療か	石神 裏次 (11)	1579
ペニシリン系抗生剤の現状と使い分け	山作房之輔 (12)	1695
慢性肺気腫の管理ー日常生活の指導とリハビリテーション	田村 昌士 (12)	1698
再発をくりかえす扁桃炎	猪 初男 (12)	1702
めまいを訴える高血圧患者	額田 忠篤 (13)	1819
胃潰瘍の手術適応ー内科医の立場から	和田 武雄 (13)	1823
再発をくり返す口内炎	上野 正 (13)	1826
日常検査とその限界		
尿定性試験紙法 (その1)ー蛋白, 糖, ケトン体	河合 忠 (1)	26
尿定性試験紙法 (その2)ー尿ビリルビンと尿ウロビリノーゲン	林 康之 (2)	136
尿中細菌数	土屋 俊夫 (3)	258
血糖	青木 紀生 (4)	380
免疫学的妊娠反応	長峰 敏治 (5)	502
尿素窒素	奥田 稔 (7)	1022
コレステロールとβリポ蛋白	中野 栄二 (8)	1146
血清アマラーゼ	丹羽 正治 (9)	1270
血清 GOT と GPT	金井 正光 (10)	1394
アルカリホスファターゼ		

石井 暢	(11)	1518
RA・LE テスト	高野喜久雄	(12) 1640
CRP と赤沈値	河野 均也	(13) 1764
診療手技		
自然気胸の脱気法	正木 幹雄	(1) 28
喀痰除去	長岡 滋	(2) 138
IPPB	伊賀 六一	(3) 260
酸素療法	岩月 賢一	(4) 382
チューブ栄養	木村 信良	(5) 504
エア・ウェイの使い方	尾山 力	(7) 1026
新しい輸液技術	小出来一博	(8) 1148
肝生検	井上 恭一	(9) 1274
脾臓触診のコツ	築山 義雄	(10) 1398
皮膚生検	野波英一郎	(11) 1520
小腸生検	山岸 悟郎	(12) 1642
直腸診のコツ	佐分利六郎	(13) 1766
救急診療		
ガス中毒	牛尾 耕一	(1) 30
急性喘息発作のときの管理	宮本 昭正	(2) 140
降圧注射薬の救急使用時の注意	長谷川恒雄	(3) 264
脳卒中患者の輸液	飯田 喜俊	(4) 386
薬物ショック	渡部 美穂	(5) 508
急性アルコール中毒	名尾 良憲	(7) 1028
吐血	早川 光久	(8) 1152
急性肺水腫	依藤 進	(9) 1278
小児のひきつけ	巷野 悟郎	(10) 1400
急性腎不全の応急対策	町田 豊平	(11) 1524
気道・食道の異物	栗田口省吾	(12) 1644
乳幼児の薬物誤飲	中條 俊夫	(13) 1768
内科疾患と装具		
装具の常識と処方への注意	今村 哲夫	(1) 34
脳血管障害 (脳卒中) 後遺症の装具		(2) 147
和室用下肢装具		(3) 270
上肢装具		(5) 514
杖の種類と使い方		(8) 1158
日本人の病気		
胃癌ー久山町における胃癌の疫学的研究	上月 武志	(9) 1282
糖尿病	村地 悌二	(10) 1404
肝硬変	大津留 信	(11) 1530
高血圧	増山 善明	(12) 1650
脳卒中	広田 安夫	(13) 1776
目で見る臨床検査シリーズ		
喀痰の検査	高橋 昭三	(1) 111
白血病の骨髓所見	寺田 秀夫	(3) 254
病原微生物の塗抹検査	河合 忠	(4) 376
全身性エリテマトーデス (SLE)	寺田 秀夫	(7) 1034
カラーグラフ		
喀痰の検査	高橋 昭三	(1) 42
Letterer-Siwe 病の皮膚症状	西村 昂三	(2) 152
血液検査法ー骨髓像からの診断	寺田 秀夫	(3) 274
病原微生物の塗抹染色検査	河合 忠	(4) 396
解離性大動脈瘤	初音嘉一郎	(5) 518
LE 細胞試験と SLE	寺田 秀夫	(7) 1038

先天代謝異常症と眼症状 (その1)	松井 瑞夫 (8) 1162
ポルフィリン症	仁木富三雄
宮里 肇・池田 重雄 (9) 1286	
結腸ファイバースコープ	
吉田 豊・田島 強	
前田 栄昭 (10) 1414	
全身性紅斑性狼瘡の眼底所見	
松井 瑞夫 (11) 1534	
弾力線維性仮性黄色腫の眼底所見	
松井 瑞夫 (12) 1656	
乳頭浮腫	松井 瑞夫 (13) 1780
グラフ	
脳血管造影	高瀬貞夫ほか (1) 45
動脈血ガス分析	
山林 一・外村 舜治 (2) 155	
呼吸困難を起こしやすい老人の肺	
長沢 潤 (2) 159	
十二指腸低張造影と経皮胆管穿刺造影	
高瀬潤一ほか (3) 277	
腹部血管造影	
平松 京一・坪郷 義崇 (4) 399	
Disc 電気泳動法	井形 昭弘 (5) 521
甲状腺疾患の超音波断層写真	
石原 明夫 (5) 526	
経静脈性腎盂造影法 (IVP)	
中村 宏 (7) 1042	
膀胱・尿道結石のX線像	
千野 一郎 (8) 1167	
胸部単純撮影でわかる心所見	
敦本 五郎 (9) 1291	
結腸ファイバースコープ	
吉田 豊・田島 強	
前田 栄昭 (10) 1414	
東芝総合健診センター	
富樫 実 (10) 1410	
細胞の超微形態	山元 寅男 (11) 1538
東京人腎臓センター	
樋口 順三 (11) 1597	
目でみる抗菌作用—抗生物質による細菌の Cell wall 合成阻害	
中沢昭三・西野武志 (12) 1661	
心臓・血管の石灰沈着像	
五十嵐正男・野辺地篤郎 (13) 1785	
症 例	
全身性疾患と消化器	日野 貞雄
まとめ (1) 102	
全身性疾患と心臓	鷹津 正・ほか
甲状腺疾患と心臓 (2) 213	
糖尿病と心臓 (3) 335	
肝疾患と心臓 (4) 457	
筋肉疾患と心臓 (5) 581	
膠原病と心臓 (7) 1101	
全身性疾患と眼	松井 瑞夫
先天代謝異常症と眼症状 (1)	
(8) 1225	
”(2) Lipidosis (9) 1349	
”(3) Wilson 病 (10) 1473	
膠原病の眼症状 (11) 1603	
弾力線維性仮性黄色腫の眼底所見 (12) 1719	
乳頭浮腫 (13) 1843	
症 例	
ルポイド肝炎の1症例	
谷川 久一・金戸 昭 (2) 221	
Hurler Syndrome (Gargoylism)	

の成人例	
玉木 敏正・小沢 永憲 (3) 339	
Zieve 症候群を呈した肝硬変症の1例	
上野幸久ほか (7) 1107	
コメント	内藤 周幸 (7) 1111
アドレナリン注入による腹腔動脈造影	
勝部 吉雄・水垣 洋 (9) 1352	
SMON に併発した急性腎不全の治療	
1例	楠井 賢造
金沢 秀晃・宮本 長平 (11) 1606	
高安氏動脈炎 (脈なし病)	
山根 暁一 (12) 1722	
medicina CPC	
顔面浮腫に蛋白尿、紅斑様発疹および関節痛を伴った小児の症例	
植田 稔・巷野 悟郎	
西山 茂夫・小沢 啓邦	
松見富士夫 (1) 95	
特異な皮膚症状と発熱に始まり、肝・脾腫、腹水、黄疸など多彩な症状を示した乳児の例	
巷野 悟郎・西山 茂夫	
植田 稔・小沢 啓邦	
松見富士夫 (2) 236	
大動脈弁口狭窄症に多数の肺硬塞を伴った1剖検例	金上 晴夫
大貫 寿衛・中島 利子	
太田 伶・関 清 (4) 475	
胃潰瘍として発病し、肝不全にて死亡した1例	兼高 達式
高橋善弥太・藤沢 洵	
菅井 健二・上野 幸久 (7) 1124	
糖尿病を伴った肝障害の1例	
高橋善弥太・兼高 達式	
藤沢 洵・菅井 健二	
上野 幸久 (10) 1496	
食道癌に、X線照射を行なった後、呼吸困難を起こした例	
大貫 寿衛・太田 伶	
金上 晴夫 (13) 1862	
他科との話し合い	
糖尿病患者の手術	
筑紫清太郎・伊藤 徳治	
中田不二男・上寺 弘道 (3) 354	
Basedow病 一切のべきか、切らざるべきか	
鎮目 和夫・藤本 吉秀	
渡辺 亮・守屋美喜雄 (5) 606	
婦人の下腹痛	
伊藤 綏・久保 博	
佐藤 安正・本田 三郎 (8) 1246	
無月経症	
吉植 庄平・古谷 博	
武沢 鎮磨・野末 悦子 (10) 1488	
内科医のための骨疾患へのアプローチ	
佐々木智也・永野 証巨 (12) 1742	
内科専門医のための診断学	
心臓聴診法 (その1) 心音	
太田 伶 (1) 107	
胆嚢疾患の診断法	真下 啓明 (2) 225
呼吸器系研修の範囲と深さ—3段階による判定を中心にして	
笹本 浩 (3) 345	
心臓聴診法 (その2) 心雑音	
太田 伶 (4) 461	
専門医のための肝機能検査	

織田 敏次 (5) 587	
脾疾患の診断 (その1) —診断法概要	
ならびに各検査法の重要度	
小田 正幸・信太 秀夫 (7) 1119	
脾疾患の診断 (その2) —各種検査法の重要度ならびに総合診断の必要性	
小田 正幸・信太 秀夫 (8) 1229	
食道・胃・十二指腸疾患の診断	
芦沢 真六 (9) 1357	
高血圧の鑑別診断—主に拡張期性高血圧の鑑別について	
尾前 照雄 (10) 1479	
感染症—伝染病をのぞく	
真下 啓明 (11) 1609	
甲状腺機能低下症の臨床診断	
尾形 悦郎 (12) 1729	
意識障害患者のみたかた	
田崎 義昭 (13) 1857	
臨床家の〇〇学	
(生理学) 老人の肺	滝島 任 (2) 228
(内分泌学) 消化管ホルモンとインスリン分泌	大根田 昭 (3) 361
(生化学) ビタミンの生化学的作用による欠乏症の診断	
宮地 一馬 (4) 466	
(内分泌学) レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系	
吉永 馨 (5) 594	
(薬理学) アルコール中毒における代謝性アセトアルデヒドの意義	
赤羽 治郎 (7) 1112	
(生理学) 暑さに対する人体の適応	
大原 孝吉 (8) 1235	
(薬理学) 強心配糖体の薬理	
今井 昭一 (9) 1363	
(腫瘍学) 癌とウイルス	
伊藤 洋平 (10) 1483	
(生化学) アルカリフォスファターゼのアイソザイム	奥村 恂 (11) 1612
(化学療法学) 抗生物質の生体内代謝	
清水喜八郎 (12) 1736	
(生理学) 寒さに対する人体の適応	
伊藤 真次 (13) 1852	
連載講座	
筋電図のよみ方	土肥 一郎
筋電図検査の適応、神経原性筋萎縮と筋性筋萎縮 (1) 87	
脱神経とこれからの回復過程および随意収縮以外の動きによる放電 (2) 232	
誘発筋電図, trick motion (3) 350	
小児心電図講座	津田 淳一
小児の正常心電図 (1) 脈拍数およびP波 (4) 472	
小児の正常心電図 (2) QRS 波 (5) 599	
小児の正常心電図 (3) ST およびT波, PR およびQT 時間と各正常値の総括 (8) 1240	
心室中隔欠損症 (9) 1368	
心房中隔欠損症 (二次孔欠損) (10) 1476	
肺動脈弁狭窄症 (11) 1600	
ファロー四徴症 (12) 1725	
動脈管開存症 (13) 1848	

サイクロペディア・メディチーナ

膜性腎症 (Membrane Nephropathy)	石川 栄世 (1) 91
Consumption Coagulopathy	藤巻 茂夫 (1) 93
Burkitt's Tumor	田代 浩二 (1) 93
鉄吸収の二段階機構	服部 理男 (2) 209
心内膜線維性症	大國 真彦 (2) 209
ボツリヌス中毒	飯田 広夫 (2) 211
Placental Lactogen	鎮目 和夫 (2) 211
幼児の発作性斜頸	渡辺 勲 (3) 331
Hypoglycemia factitia	平田 幸正 (3) 331
Green Plasma	丸山 理一 (3) 333
薬物依存	竹山 恒寿 (3) 333
糖蛋白蓄積症	茂手木 皓喜 (4) 453
Enteroglucagon	大根田 昭 (4) 453
Metastatic Calcification	石川 徹 (4) 455
Shunt Bilirubin	山本 俊夫 (4) 455
高グリシン血症	多田 啓也 (5) 577
ガンマ・ヴェニン	合屋 長英 (5) 577
Diabetic Diarrhea	村井 俊介 (5) 579
眼球突出因子	宮井 潔 (5) 579
金療法による眼症状	橋本 明 (7) 1097
Recurrent Multiple Cranial Neuropathy	井上 尚英 (7) 1097
Universal hypertrichosis lanuginosa と内臓の悪性腫瘍	西山 茂夫 (7) 1099
Benign monoclonal gammopathy	橋本 信也 (7) 1099
クッシング症候群にみられる筋変化	入江 実 (8) 1121
乾燥性角結膜炎の検査	涌井 嘉一 (8) 1121
血液学的検査の精度管理	三輪 史朗 (8) 1123
喘息状態にみられる循環血液量の減少	野口 英世 (8) 1123
各種疾患のガストリン血清中濃度	和田 武雄 (9) 1345
Sea-Blue Histiocyte 症候群	村田 克己 (9) 1345
汎発性強皮症の神経学的異常	浅井 克晏 (9) 1347
Rifamycin-AMP	松宮 恒夫 (9) 1347
Myeloperoxidase deficiency	山中 学 (10) 1469
糖尿病成立に關する新しい脾ホルモ	繁田 幸男 (10) 1469
血液型とコレステロール	三輪 史朗 (10) 1471
レーザー光線による眼障害	桐淵 光智 (10) 1471
Wolman 病	中村 治雄 (11) 1593
熱傷による死亡	林 周一 (11) 1593
アジュバント65	松橋 直 (11) 1595
心筋硬塞急性期に保つべき姿勢	難波 和 (11) 1595
Genetic counseling	柳瀬 敏幸 (12) 1715

Potential diabetes

阿部 正和 (12) 1715
葉用量での葉酸の毒性
柴田 長夫 (12) 1717
家族性心房中隔欠損
杉下 靖郎 (12) 1717
経口避妊薬と血栓症
高木 繁夫 (13) 1839
免疫グロブリン異常と消化器疾患
渋谷 敏朗 (13) 1839
癌細胞走化因子
吉田 憲史 (13) 1841
⁵¹ Cr-EDTA による GFR の測定
篠田 晴 (13) 1841

ルポルタージュ

西ドイツの医療	水野 肇
5. 医師・国民・自治体	(2) 202
6. ベルリン・フライ大学付属病院	(3) 324
7. 医科大学の未来像	(4) 446

万博—これまでとこれから

木島 昂 (8) 1214
よそ者を貝にする島—舩倉島とひとり
の女医さん
木島 昂 (10) 1462

診療所訪問

診療所における外来診療予約制
福島 庸逸 (3) 328
東京都管診療所を訪ねて
編集室 (7) 1090
長野県梓診療所を訪ねて
編集室 (9) 1342
東京人工腎臓センターを訪ねて
岩淵 勉 (11) 1588
岩手県水沢病院を訪ねて
編集室 (12) 1711
東京アレルギークリニックを訪ねて
編集室 (13) 1834

メディチーナ・ジャーナル

待たれる両眼視機能障害対策
木村亮太郎 (2) 131
保険医の身分と保険診療時間の分離
木島 昂 (3) 256
衛生検査技師法の問題点
木村亮太郎 (4) 491
軌道にのったハシカワクチン
木島 昂 (5) 537
いそがれる血清肝炎対策
大谷 藤郎 (7) 1085
海外医療協力の反省
木村亮太郎 (8) 1258
アジア大洋州医学教育会議のめざすもの
木島 昂 (9) 1382
今後の伝染病予防対策のあり方について—伝染病予防調査会の中間答申
Q (10) 1503
第18回日本医学会総会—とくに実地医家のために
木島 昂 (11) 1624
世界的なコレラの流行
大谷 藤郎 (12) 1752
集団予防接種, やります。しかし……
木島 昂 (13) 1874

話題

第12回国際リウマチ学会から
佐々木智也 (2) 133
第76回実地医家のための会から
秋月 源二 (2) 246

第55回循環器学会関東甲信越地方会から
関 清 (4) 444
第56回日本消化器病学会総会から
佐藤 八郎 (7) 1092
第12回日本内視鏡学会総会から
湯川 永洋 (7) 1093
第14回日本医学会シンポジウムから
石川 中 (7) 1094
第17回日本内科学会総会から
尾形 悦郎 (7) 1095
第13回日本糖尿病学会総会から
三村 悟郎 (9) 1367
第10回日本胸部疾患学会総会から
滝島 任 (10) 1495
第18回日本化学療法学会総会から
三国 政吉 (12) 1728
第20回日本アレルギー学会から
第7回国際アレルギー学会から
宮本 昭正 (13) 1836

全国教室めぐり

山口大・第2内科	(2) 20
広島大・第1内科	(3) 323
岡山大・第2内科	(4) 445
長崎大・第2内科	(5) 569
東邦大・第2内科	(7) 1089
岡山大・第1内科	(8) 1213
横浜市大・第2内科	(9) 1337
群馬大・第2内科	(10) 1461
岡山大・第3内科	(11) 1585
熊本大・第1内科	(12) 1707
鳥取大・第2内科	(13) 1831

トピックス

脳腫瘍に対するブレオマイシンの全身 的投与療法	竹内 一夫 (1)	66
塩化ビフェニール中毒症の現状	平山 千里 (1)	121
1969年ノーベル医学生理学賞授賞者	瀬野 悍二 (2)	206
二重盲検法	佐藤 倚男 (10)	1475
パーチェット病患者に救いの手を	パーチェット病患者を救う医師の会	
	福山 正臣 (11)	1622
第23回日医設立記念医学大会	木島 昂 (13)	1832

その他

<くすりの話題>これからの抗ウイルス剤—インターフェロン誘発物質	石田名香雄 (4) 440
<私の意見>医師と公務員の狭間—病院勤務体制の改革を訴える	小島 憲 (5) 570
<ある文学者のガン執念>ガンの原因と予防 (その1)	吉岡修一郎 (8) 1216
” (その2) ”	(9) 1338
<診療メモ>内科領域における心理面の評価 (1)	遠山 尚孝 (8) 1256
” (2) ”	(9) 1379
<団体紹介>日本対ガン協会とその現況	白井 茂 (10) 1466
<団体紹介>腎センターにおける愛知県方式	小林 快三 (11) 1563
<海外だより>	高木 国夫 (12) 1708
<統計>	小川博・小畑美知夫 (1—13)
<略語の解説>	阿部 正和 (1—13)
<病理夜話>	金子 仁 (2—12)